

一般財団法人エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19
(虎ノ門マリビル 10 階)

TEL 03-5405-7203(直通)/FAX03-5405-8201

ホームページアドレス ; <https://www.ena.or.jp/GEC/>

E-mail アドレス ; gec-adm@ena.or.jp

第 357 号 / 2019.6

Index

- 「ENAA 研究成果発表会 2019」開催のお知らせ
- 第 1 回 地熱発電・熱水活用研究会 開催報告
- 水素・再生可能エネルギー導入ビジョン策定支援業務【名古屋市】
- 会員の皆様へのお知らせ
- 新規入会企業のご紹介
- ビジネス講演会 (GEC 設立 30 周年記念講演) のお知らせ

■ ENAA 研究成果発表会 2019」開催のお知らせ ■

「ENAA 研究成果発表会 2019」を下記要領にて開催致します。

協会の委員会・研究会等での年度ごとの研究・調査の成果を広く会員各社の方々に理解してもらおうとともに研究活動に対してご意見をいただき、今後の協会活動をより良いものにするを目的として、発表会の形で実施しています。

本成果発表会は、当協会における主要な平成 30 年度事業の研究成果を発表いたしますので、是非多数の方々にご参加いただきたくご案内申し上げます。

1. 会 期 : 2019 年 7 月 4 日(木)~5 日(金)
の 2 日間

地下開発利用研究センターの発表は、

7 月 5 日 (金) 13:00 ~17:00

2. 会 場 : 当協会 会議室

3. 参加費 : 無料

4. 定 員 : 120 名

5. プログラム :

下記 4 セッション・センターからの発表

7 月 4 日 (木) 開場 (受付開始) 12:30

1. 企画渉外部セッション
2. 技術部セッション

7 月 5 日 (金) 開場 (受付開始) 10:00

3. 石油開発環境安全センター

4. 地下開発利用研究センター

(地下開発利用研究センター部門のみ
次ページに詳細プログラムを掲載)

6. 申込み要領 :

① 下記 ENAA ホームページよりお申し込み下さい。(の <https://www.ena.or.jp/>)

② プログラム選択にて、参加希望のセッションにチェックを入れて下さい。

③ 申し込み者が定員を超える場合は締め切らせていただきますが、参加登録できなかった場合に限りご連絡致します。なお、申込者多数のセッションについては、申込者の多い企業に調整をお願いする場合がありますことを予めご承知おき願います。

④ 申込締切日 : 2019 年 7 月 3 日 (水)

⑤ 問 合 せ 先 : 地下センター 中村

TEL : 03-5405-7203

FAX : 03-5405-8201

ENAA研究成果発表会 2019プログラム

(地下開発利用研究センター)

7月5日(金)

地下開発利用研究センター部門 開会の挨拶 13:00 (所長: 奥村忠彦)

F-1 <13:05~13:30 : 25分>

「地下開発利用研究センター 平成30年度活動報告と今後の展開」

塩崎 功 ((一財)エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター 技術開発部長)

F-2 <13:30~13:50 : 20分> 自主事業

「地熱発電・熱水活用研究会」

三石 晋 (元 (一財)エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター 研究主幹)
(現 応用地質(株) 流域・水資源事業部 技術部)

F-3 <13:50~14:10 : 20分> 自主事業

「水素輸送・貯蔵研究会」

青木 貴均 ((株)安藤・間 建設本部 技術研究所 先端・環境研究部 主任)

F-4 <14:10~14:30 : 20分> 自主事業

「エネルギー関連施設に関する活断層の工学的研究会」

浦野 和彦 ((株)安藤・間 建設本部 技術研究所 土木研究部長)

F-5 <14:30~15:00 : 30分> JKA補助事業

「地下情報の基盤モデルづくりに関する調査」

箱田 利明 (日揮(株) 海外インフラプロジェクト本部兼国内インフラプロジェクト本部 EPC
技術強化グループ 本部長付兼リーダー)

休憩 10分

F-6 <15:10~15:40 : 30分> NEDO受託事業

「IoT-AI適用による小規模地熱スマート発電&熱供給の研究開発」

中尾 吉伸 ((一財)電力中央研究所 エネルギー技術研究所 エネルギープラットフォーム創生
領域 上席研究員)

F-7 <15:40~17:00 : 各20分> 自主事業

「快適なインフラ・まちづくりに資する地下空間利用の調査研究」

(第1部会)「地下歩行空間を利用した快適なまちづくりに関する調査研究」

西村 毅 ((株)安藤・間 建設本部 技術研究所 土木研究部 主席研究員)

(第2部会)「離島における電力エネルギーの強靱化および快適性向上に関する調査研究」

中山 洋 (佐藤工業(株) 土木事業本部 営業部 部長)

(第3部会)「快適な社会に向けた水インフラ利用に関する調査研究」

平野 孝行 (西松建設(株) 土木事業本部 土木設計部 シニアマイスター)

(第4部会)「新たな付加価値を創造する交通インフラ整備に関する調査研究」

山田 岳峰 (鹿島建設(株) 土木管理本部 土木技術部 要素技術開発グループ 担当部長)

■ 第1回 地熱発電・熱水活用研究会 開催報告 ■

2019年5月14日（火）に、2019年度第1回目の「地熱発電・熱水活用研究会」を開催しました。

はじめに、地熱プロジェクト推進室 奥村 忠彦室長と、当研究会の海江田 秀志委員長（（一財）電力中央研究所）より、最近の地熱関係の情報提供がありました。

第1部は、京都大学経済研究所 先端政策分析センター 山東 晃大様より、「地熱発電における地域経済付加価値分析の検証」と題してご講演いただきました。

この講演では、地熱発電を地方自治体や地域住民が受け入れるためのひとつの手段として、地域経済付加価値分析（Regional Value-added Analysis：RVAと略す。）という合意形成ツールを紹介していただきました。RVAは地熱発電によって新たに生まれる地域経済付加価値を計測して、地元への経済的効果を数値的に示すことができます。これにより、RVAは地域の環境や実情に合わせて、事業スキーム別に地域経済付加価値を比較し、地域との合意形成の判断材料となることを紹介していただきました。

第2部は、地熱プロジェクト推進室 塩崎 功副室長より、「国内外の地熱エネルギーの利用」と題した講演を行いました。

昨年5月大分県別府市において「おんせん県おいたゞ世界温泉地サミット」が開催され、世界温

泉地サミット宣言が採択されました。大分県はこの宣言を実現するため、日本全国をはじめ世界各地の温泉のエネルギーを活用する事例を紹介・解説する事例集を作成し、ホームページなどで広く公開することにしました。この講演ではこの事例集の内容を紹介しました。

第3部は当協会に新たに入会していただきましたベースロードパワージャパン株式会社の川内様より同社の業務内容を紹介していただきました。なお、4ページに同社のご紹介を掲載しました。

講演会には90名を超える委員及びオブザーバーの方々にご出席いただきました。

2019年度第2回の開催は、7月23日（火）15：30～17：30を予定しています。今後も多数の方にご参加いただき、地熱発電と熱水活用の事業に役立つ研究会となるよう推進してまいります。



第1部講演（山東講師）

■ 水素・再生可能エネルギー導入ビジョン策定支援業務【壱岐市】 ■

2018年に自治体SDGsモデル事業に選定された長崎県壱岐市は、低炭素社会に向けた再生可能エネルギーの導入及び活用促進に取り組んでいます。本土と系統連系していない壱岐市において、再生可能エネルギーの導入拡大を図るには、そのエネルギーを電気・熱として供給できるシステムを構築する必要があります。そのため、壱岐市は経済産業省の平成30年度第2回「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」に応募し、「壱岐市における水素・再生

可能エネルギー導入ビジョン策定事業」が採択されました。本業務ではこの事業を支援するために、水素の製造・輸送・貯蔵・利用方法、水素及び再生可能エネルギーを活用した地域振興・地元の合意形成のあり方、他の離島にも普及可能なモデルとしての汎用性、事業経済性などに関する調査検討を行った上で、水素・再生可能エネルギー導入ビジョン策定の支援を行いました。

■ 会員の皆様へのお知らせ ■

□新規入会企業のご紹介

新たに当センターに入会された会員企業をご紹介します。

●ベースロードパワージャパン株式会社

BASELOAD POWER JAPAN CO.LTD

<http://www.baseloadpower.jp/>

【本社所在地】

〒105-0004 東京都港区新橋4-1-1

【事業内容】

ベースロードパワージャパン(株)は、独自のバイナリ発電機を用いた地熱発電所の設計・建設及び運営までを一貫して行う発電事業者です。関連会社である CLIMEON 社(スウェーデン)の高効率な発電機により、コンパクトで環境負荷を最小限に抑えた持続可能なシステム設計を常に目指して取り組んでおります。発電機は約 2m x 2m x 2m で 150kW の発電容量を有します。

また、CO2 排出量削減への取組に同調する世界中の投資家・企業からの支援を受けております。皆様と共に進める日本での開発は、大きな注目が集まってきており、世界へ発信するチャンスと捉え活動してまいります。

同時に他国でのプロジェクトもあり、協会での活動として事例の共有等も検討いたします。

●株式会社アルファシビルエンジニアリング

ALPHA CIVIL ENGINEERING CO.LTD

<http://www.alpha-civil.com>

【本社所在地】

〒812-0015 福岡市博多区山王1丁目1番18号

【事業内容】

(株)アルファシビルエンジニアリングは、都市トンネルを中心とした地下非開削工事の専門業者として、地下工法の開発と技術の確立を行っており、都市再生をはじめ社会のインフラ整備の一端を担い、高品質かつ環境にやさしい工法の提供と循環型社会の構築に努めております。

弊社では、地下通路、都市トンネル、山岳トンネル(対策工)、下水道管きょ、雨水函きょ、電力管路等の掘削機械(掘進機)の開発・設計・計画及び積算業務、技術開発、地下工事施工までを一貫し、総合的な施工体制づくりにより事業を展開しております。安心・安全で工期短縮が可能な信頼の高い施工技術の提供により、快適な地下空間の実現に向けたインフラ整備事業を展開して社会貢献に努めております。

□ビジネス講演会 (GEC 設立 30 周年記念講演) のお知らせ

地下センターは今年で設立30周年を迎えます。これを記念したビジネス講演会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

<第289回ビジネス講演会>

日時：7月9日(火) 10:30~12:00

場所：当協会会議室

会費：講演会 無料(会員限定)

主題：地下空間利用の潮流と未来展望

— Underground for Human —

講師：大沢 昌玄

(日本大学理工学部土木工学科 教授)

人間生活・都市活動を支えた地下空間を改めて顧みたと、これからの地下空間活用の未来像についてお話いただきます。

詳細及びお申し込みは下記のホームページをご覧ください。

<https://www.ena.or.jp/seminar/38843>